

ベネズエラ経済（2013 年 7 月）

1 経済概要

（1）政府の各種政策・統計

●ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、6月のインフレ率が5月の6.1%を下回り4.7%となり、1-6月（上半期）の累積インフレ率が25.0%（前年同期は7.5%）となった。

●国家統計局（INE）によると、6月の失業率は前年同月の7.4%に比し0.5ポイント改善し、6.9%（失業者数：956,919人）となった。

（2）政府予算・財政

●租税監督庁（SENIAT）プレスリリースによると、上期の税収は当初計画の935.4億ボリバルに比し129%増の1,206.7億ボリバルとなった。

（3）石油・天然ガス産業

●米国エネルギー情報局（EIA）の暫定値によると、1-6月のベネズエラ産原油の対米輸出量は、日量平均75.4万バレルとなった。

●OPECの統計によると、上期（1-6月）のベネズエラ原油生産量は、前年同期に比し1.88%減の日量平均275.2万バレルとなった。

（4）自動車産業

●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）によると、1-6月の国内自動車生産台数は、前年同期に比し36.39%減の36,919台、国内自動車販売台数は、前年同期に比し36%減の36,206台となった。

（5）その他産業

●コカ・コーラ・フェムサ（Coca-Cola FEMSA）は、カラカスにおける工場建設に10億ボリバルの投資を実行した。

（6）外貨発給状況

●ベネズエラ中央銀行（BCV）プレスリリースによると、7月に行われたSICADによる外貨供給は、法人計1,953社に対し3億5,856万ドル、個人計51,674人に対し、6,703万ドルとなった。

2 経済の主な動き

(1) 政府の各種政策・統計

ア 6月末時点での金保有量

ベネズエラ中央銀行（BCV）データに基づく計算によると、6月末時点におけるBCV外貨準備高に占める金保有量は3,658トンで外貨準備高に占める割合としては70%となった。

なお、世界金評議会によると、ラテンアメリカ諸国における外貨準備高に占める金保有量は、エクアドルが26.6%、アルゼンチンが7.4%、ペルーが2.4%、コロンビアが1.3%、及びブラジルが0.8%となった。

(3日付エル・ウニベルサル紙)

イ 5月対米貿易黒字額

米国商務省によると、5月のベネズエラの対米貿易黒字額は前月の15.19億ドルに比し15.19億ドルとなった。

(4日付エル・ウニベルサル紙)

ウ 国家統計局（INE）による物資不足率の予測

国家統計局（INE）エルフリ総裁は、本年の物資不足率は、供給が改善することにより、12%-14%へ減少すると発表した。

(9日付エル・ウニベルサル紙)

エ パナマとの二国間技術委員会の創設合意

マドゥーロ大統領は、マルティネリ・パナマ大統領と会談を行い、ベネズエラ及びパナマの二国間通商関係の開発を図るべく、二国間技術委員会を創設することを合意に至った。

また、ベネズエラ国営航空会社コンビアサ（Conviasa）社によるカラカス - パナマ間の就航を準備する旨合意に至った。

なお、ファブレガ（Fabrega）パナマ外相は本会談を前にマルティネリ大統領が、ベネズエラ企業の抱えるパナマ・コロンのフリーゾーン向けの債務数百万ドルについて、支払いの迅速化に対し、合意に至りたい旨述べた。

(9日付エル・ウニベルサル紙及びウルティマス・ノティシア紙)

オ 中国・ベネズエラ二国間基金の横領容疑者逮捕

マドゥーロ大統領は、中国・ベネズエラ二国間基金から計8,400万ドルをベネズエラ経済社会開発銀行（BANDES）経由で横領した容疑で5名を逮捕した旨発表した。

(9日付エル・ウニベルサル紙及びエル・ナシオナル紙)

カ 6月インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、6月のインフレ率が5月の6.1%を下回り4.7%となり、1-6月（上期）の累積インフレ率が25.0%（前年同期は7.5%）となった。

また、直近12ヶ月における累積インフレ率は、39.6%（前年同期は21.3%）、6月の物資の不足を表す指数は19.3%となった。

（9日付BCVプレスリリース）

キ 外国人旅行者からの外貨収入見込み

マドゥーロ大統領は、2012年の外国人旅行者は78.2万に達し、早晩300万人に達し、20億ドルの外貨収入を見込んでいる旨発表した。

（10日付エル・ユニベルサル紙）

ク 住宅ミッション進捗状況

ラミーレス石油鉱業大臣兼住宅ミッションの最高機関コーディネーターは、住宅ミッションの進捗状況を本年の建設計画38万件に対し、95%相当の36万2,250軒の建設が実行中である旨発表した。

（11日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、及びウルティマス・ナティオナル紙）

ケ ビックマック指数

英国週刊新聞のエコノミスト（The Economist）によると、ビックマック指数によるベネズエラ通貨は56.9%過大評価されている。

なお、全世界で最も過大評価されている国は、ノルウェー（64.7%）、次いでベネズエラ（56.9%）、スイス（47.5%）、スウェーデン（35.1%）、ブラジル（16%）となっている。

（16日付エル・ユニベルサル紙）

コ 国際機関代表者任命

官報40207号は、メレンテス財務大臣を世界銀行、アンデス開発公社（CAF）、米州開発銀行、及びOPEC基金等、ベタンクール・ベネズエラ中央銀行総裁を国際通貨基金の代表者にそれぞれ任命した旨公布した。

（17日付エル・ナショナル紙）

サ 6月失業率

国家統計局（INE）によると、6月の失業率は前年同月の7.4%に比し0.5ポイント改善し、6.9%（失業者数：956,919人）となった。

なお、フォーマルセクター及びインフォーマルセクター従事者はそれぞれ、61.1%、38.9%であった。

(19日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、及びウルティマス・ノティシア紙)

シ 6月食糧バスケット価格

国家統計局（INE）によると、6月の食糧バスケット価格は、前月に比し4.44%増の2,737.07ボリバルとなった。

(20日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、及びウルティマス・ノティシア紙)

ス 中国との新規融資交渉開始

ポラス・ベネズエラ開発銀行（BANDES）総裁は、中国と新規融資50億ドルの交渉に入った旨発表した。

なお、2008年以来中国からの融資総額は360億ドルに達している。

(24日付エル・ユニベルサル紙及びエル・ナショナル紙)

セ 上期（1-6月）対コロンビア貿易

コロンビア経済統合委員会（CAVECOL）によると、1-6月のベネズエラとコロンビアの貿易額は、前年同期に比し3%減の13億7,800万ドルとなった。

なお、本貿易額に占めるコロンビアの対ベネズエラ輸出額は、11億7,400万ドルであった。

(24日付エル・ユニベルサル紙)

ソ 経済成長見通し

・ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）

ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）は、2013年のベネズエラ GDP 成長率見通しを前回の2.0%の成長から1.0%の成長へ見直した。

なお、2013年のラテンアメリカ地域の GDP 成長率は、前回の3.5%の成長から3.0%の成長へ見直された。

(25日付エル・ユニベルサル紙及びエル・ナショナル紙)

・バンク・オブ・アメリカ

バンク・オブ・アメリカは、2013年のベネズエラの GDP 成長率見通し3.6%のマインス成長と予測した。

なお、2013年のインフレ率は48.4%、輸出総額は前年比7.6%減の899億ドルという見通しを発表した。

(26日付エル・ナショナル紙)

タ 観光キャンペーン

イサラ観光大臣は、” El destino mas chevere, Venezuela” という観光キャンペーンの開始を発表した。

本キャンペーンは、国内観光客数の増加、国内主要空港の稼働、観光インフラの効率及び競争力の向上、及び娯楽、文化、スポーツ、美食等の提供を通じ観光分野を強化することを目的としている。

(26日付エル・ウニベルサル紙及びウルティマス・ノティシア紙)

(2) 政府予算・財政

ア 上期(1-6月) 税收

租税監督庁 (SENIAT) プレスリリースによると、上期の税收は当初計画の935.4億ボリバルに比し129%増の1,206.7億ボリバルとなった。

なお、内訳は所得税収が349億ボリバル、付加価値税収が555.9億ボリバル、関税収が238.5億ボリバル、及びその他税収が63.3億ボリバルであった。

(2日付エル・サッカル紙)

イ ベネズエラ中央銀行 (BCV) による公的分野への財政援助

ベネズエラ中央銀行 (BCV) の統計に基づく、2013年7月21日時点におけるBCVによる公的分野への財政援助額は、2012年7月22日時点と比較し51%増の1,927億ボリバルとなった。

(12日付エル・ウニベルサル紙)

ウ 国会による追加債務承認

国会は追加債務760億ボリバルを承認した。内訳は、年金給付向けに412億6,400万ボリバル、社会保障給付向けに26億8,600万ボリバル、住宅ミッション向けに100億ボリバル、借換え、若しくは国家債務リスク向けに220億5,000万ボリバルであった。

なお、今期の債務額は、国会が承認した当初債務予算額1,166億ボリバルから、1,926億ボリバルになった。

(16日付国会プレスリリース及び17日付エル・ウニベルサル紙)

エ 国及び公的機関の債務

パークレイズ・キャピタルは、2013年の国及び公的機関の抱える債務は、GDP比60%、2010年に比し63%増の1,780億ドルと試算した。

(23日付エル・ウニベルサル紙)

オ 国会による予算追加承認

国会の財務・経済開発委員会において、５月に実効された最低賃金及び年金の引き上げを賄う目的で約５９億ボリバル、及び公的機関の人件費を中心に約６５億ボリバル、州庁及び市役所職員向け賃金（最低賃金引き上げ、本年の昇給、社会保障給付、食料チケット、及び入院保険等）向けに約４０億ボリバルの計１０５億ボリバルの追加予算が承認された。

この結果、年初からの２０１３年国家予算の追加承認額は計８５９億ボリバルとなり、現時点での国家予算累計額は、当初予算額の３，９６４億ボリバルから４，８２３億ボリバルとなった。

(31日及び8月1日付エル・ウニベルサル紙及びウリディアス・ナシオナル紙)

(3) 石油・天然ガス産業

ア 第8回ペトロカリベ首脳会議

ベネズエラ石油公社（PDVSA）プレスリリースによると、ペトロカリベの枠組みでの原油輸出量は、加盟国のエネルギー需要の約４０％相当の２億３，２００万バレルに達した旨発表した。また、２０１２年ペトロカリベ向け原油輸出量は、日量平均で前年に比し２８％増の１２．１万バレルであった。

なお、対ニカラグア向け２０１２年原油輸出量は、前年の日量１万６，６００バレルから６５％増の２万７，５００バレルとなり、原油をはじめとした輸出額は８億６，８００万ドル、輸入額は７億１，３００万ドルに達した。

(1日付エル・ウニベルサル紙)

イ BPによるベネズエラ国内石油需要

英BP社によると、２０１２年のベネズエラ国内の石油需要（日量）は、前年に比し１万７，０００バレルの７８．１万バレルとなった。

なお、PDVSAの２０１２年営業報告によると、同年の国内石油需要（日量）は、前年に比し８万９，０００バレル増の６８．１万バレルとなった。

(2日付エル・ウニベルサル紙)

ウ グアテマラによるペトロカリベ加入条件

バルテッティ・グアテマラ副大統領は、ペトロカリベ加入条件として、原油輸入に関わる金利を２％以下として維持されることであると述べた。

(3日付エル・ウニベルサル紙)

エ ガスプロムバンクとの新規融資１０億ドルの合意

ベネズエラ石油公社（PDVSA）は、マドゥーロ大統領のロシア訪問の機会に、ガスプロ

ムバンクからの１０億ドルの新規融資の合意に至った。本融資はマラカイボ湖における油田回復へ向けられる。

なお、ベネズエラ・ロシアの合併企業ペトロヴィクトリア（Petrovictoria）社による原油生産量は、第１四半期に６．５万バレル/日から第２四半期には６．８万バレル/日に達し、２年以内に１２万バレル/日を計画している。

（３日付エル・ウニベルサル紙）

オ 対米原油輸出量

米国エネルギー情報局（ＥＩＡ）の暫定値によると、１－６月のベネズエラ産原油の対米輸出量は、日量平均７５．４万バレルとなった。

米国の全世界からの原油輸入量は、２００６年に日量１，３０６万バレルのピークを記録し、２０１２年には同１，０５９万バレルへ減少した。

なお、ベネズエラ産原油の米国向け輸出量は、１９９７年に日量１７７万バレルを記録し、２０１２年には同９５．２万バレルへ減少した。

（１０日付エル・ウニベルサル紙）

カ 上期（１－６月）原油生産量

OPECの統計によると、上期（１－６月）のベネズエラ原油生産量は、前年同期に比し１．８８％減の日量平均２７５．２万バレルとなった。

（１４日付エル・ウニベルサル紙）

キ 西レプソル投資計画

マルティネス西レプソル財務役員が同社の第２四半期の決算説明の際に、同社は２０１２－２０１６年にベネズエラ国内において１２億ユーロの投資計画がある旨発表した。

なお、同期間における全世界での投資計画は、計１９０億ユーロであり、米国向けに２３億ユーロ、ブラジル向けに２０億ユーロ、ロシア向けに４億ユーロ等となっている。

（２６日付エル・ウニベルサル紙）

（４）自動車産業

ア ベニラウト（Venirauto）社による生産・組立台数計画

メネンデス産業大臣は、ベネズエラとイランの合併自動車生産（組立）会社の本年の生産台数が５，０００台となる旨発表した。

なお、同社の年間生産能力は１万６，０００台であるが、２０１２年の生産台数は、前年に比し１３．７％減の３，５９５台であった。

（２日付エル・ウニベルサル紙）

イ 6月生産・組立台数

ベネズエラ自動車会議所 (CAVENEZ) によると、6月の国内自動車生産（組立）台数は、前年同期に比し45.46%減の5,766台となった。この結果1-6月の国内自動車生産台数は、前年同期に比し36.39%減の36,919台となった。他方で、1-6月の国内自動車販売台数は、前年同期に比し36%減の36,206台となった。なお、国内販売台数のうち、輸入販売台数は同比91.6%増の21,075台であった。

(4日付エル・ウニベルサル紙及びエル・ナショナル紙)

ウ 国家による輸入車台数計画

メネンデス産業大臣及びフレミング商業大臣の発表によると、本年の公的分野における当国輸入台数は48,200台に上る。内訳は、国内自動車産業の生産化計画として、当初計画である計23,200台（中国車チェリ-12,000台、アルペンから10,000台、及びウルグアイ1,200台）、追加発表で中国車のチェリー5,000台、及び国軍向けに20,000台である。

(16日付エル・ウニベルサル紙)

エ 自動車部品輸出額推移

ベネズエラ自動車製造産業協会 (FAVENPA) によると、自動車部品の輸出額は、2000年に2億6,800万ドルを記録し、2004年に2億6,200万ドル、その後減少度が加速し、2012年には2004年に比し96.75%減の850万ドルとなった。

なお、輸出先主要国は、米国、コロンビア、ブラジル、メキシコ、及びエクアドルとなっている。

(23日付エル・ウニベルサル紙)

(5) その他

ア 飲料

・コカ・コーラ・フェムサ (Coca-Cola FEMSA) は、カラカスにおける工場建設に10億ボリバルの投資を実行した旨発表した。

なお、新工場では毎秒0.7リットル、日量60m³の生産能力を備える。

(3日付エル・ウニベルサル紙)

・ポラールグループ・メンドサ社長は、前年度の同社の投資額が前年に比し38%増の22億ボリバルに上った旨発表した。

なお、同社はベネズエラに28の工場及び164の物流拠点を構え、コロンビアに食料製造工場、米国に“マルタ”製造工場の進出を行っている。

(9日付エル・ウニベルサル紙)

(6) 外貨発給状況

ア SICADによる外貨供給

ベネズエラ中央銀行 (BCV) プレスリリースは、CADIVIによる外貨決済の役割を補完する3月に導入された新たな外貨供給メカニズムであるSICAD (Sistema Complementario de Administracion de Divisas) を修正した外貨供給スキームによる外貨供給を、入札を通じて実施した結果を発表した。

・ 7月1回目入札結果

法人向け外貨供給額は、落札企業計1,085社に対し1億8,050万ドル、個人向け外貨供給額は、落札者計21,916人に対し3,480.1万ドルであった(参考資料①ご参照)。

(18日付BCVプレスリリース、18日、19日付エル・ウニベルサル紙及びエル・ナショナル紙)

(参考資料①) 単位: US\$ 1,000

	応札額				落札額		
	最低額	最高額	供給額	応札単位	計	落札為替レート(推定)	落札企業・個人数
法人(*1)	8	1,020	170,000	1	180,500	Bs.10.9(*3)	1,085
個人			30,000	0.5	34,801	Bs.11.0(*3)	21,916
- 旅行者	0.5	3			30,672		20,850
- その他(*2)	0.5	5			4,129		1,066

- *1. Nueva Esparta及びFalcon州所在企業
自動車(及び自動車部品)、医療機器取扱企業
- *2. 留学生、専門サービス提供のための財購入、
保険分野の費用、科学調査費、スポーツ、文化、及び
その他緊急特別費用等
- *3. 落札為替レートは当地新聞報道による推定
法人Bs.16/US\$、個人Bs.15/US\$以上は却下
出典: 中銀プレスリリース及び18日付、19日付当地各紙

・ 7月2回目入札結果

法人向け外貨供給額は、落札企業計868社に対し1億7,806万ドル、個人向け外貨供給額は、落札者計29,758人に対し3,223万ドルであった(参考資料②ご参照)。

(31日付BCVプレスリリース、8月1日付エル・ウニベルサル紙及びエル・ナショナル紙)

(参考資料②) 単位: US\$ 1,000

	応札額				落札額		
	最低額	最高額	供給額	応札単位	計	落札為替レート(推定)	落札企業・個人数
法人(*1)	8	900	150,000	1	178,064	Bs.10.0/US\$(*3)	868
個人			30,000	0.5	32,233	Bs.10.5/US\$(*3)	29,758
- 旅行者	0.5	3			27,984		28,029
- その他(*2)	0.5	5			4,249		1,729

- *1. Nueva Esparta州所在(商業)企業
Falcon州所在家電取扱企業
書籍・教育関連企業
玩具業従事商業及び製造企業
情報機器関連(部品)企業
- *2. 留学生、専門サービス提供のための財購入、
保険分野の費用、科学調査費、スポーツ、文化、及び
その他緊急特別費用等
- *3. 落札為替レートは当地新聞報道による推定
法人Bs.13.0/US\$、個人Bs.12.0/US\$以上は却下
出典: 中銀プレスリリース及び8月1日付当地各紙

イ 上期（1-6月）外貨発給進捗状況

アルマンド・レオン・ベネズエラ中央銀行（BCV）理事によると、上期（1-6月）の ALADI 及び SUCRE を含んだ民間分野への外貨供給額は、前年同期に比し 8%増の日額 1 億 2, 5 0 0 万ドルであった。

他方で、エル・ウニベルサル紙は、SITME 及び SICAD による外貨供給額を勘案すると、上期の外貨共有額は前年同期に比し 1 3%減の日額 1 億 3, 0 0 0 万ドルであったと報じた。

（31 日付エル・ウニベルサル紙）